

港区地域情報

めいじじだい すいぞくかん
明治時代の水族館

なごやこう とう かんこう ひと
名古屋港ガーデンふ頭にある観光スポットの一つ
である「名古屋港水族館」。多くの見学者でいつも賑わ
いを見せています。

じつ めいじ
実は明治の時代にも名古屋には「水族館」がありま
した。場所は東築地五号地の北側で現在の港区
竜宮町のあたりです。当時の水族館の名前は

なご やきょういくすいぞくかん よ
「名古屋教育水族館」と呼ばれていました。

なご やきょういくすいぞくかん じつきょうかやまださい
名古屋教育水族館は明治四十三年に実業家山田才
吉きちによって建てられ、コイ、キンギョ、タイなど
千二百種余りの魚類ぎょるいや、ツル、ガチヨウ、クジヤクな
どの鳥類ちようるいが飼育しいくされていました。この他ほかにもワニや
アシカすいきゅう、水牛なども見ることができたそうです。開館かいかん
は午前八時から午後五時までの年中無休ねんじゅうむきゅうで、
入場料にゅうじょうりょうは大人十銭せん、子ども五銭せんでした。また物珍ものめずらし

さいもあつて開館当初、年間の入場者は十五万人にも及んだといわれています。入口には「竜宮門」と呼ばれる大きな門があり、外観は近代的な洋風建築で、設備も最新のものでした。しかし惜しくも大正元年の台風および高潮の影響で、建物は倒壊してしまい、今ではその姿をすっかり見ることはできなくなりました。

さいまいました。その後、規模は小さいながら南陽館を再建しその東隣に水族館が併設されましたが、名古屋港の埋め立てが進むにつれ昭和十年に両館とも閉鎖されました。

主な参考文献

- 『港区のおいたち聞き書 全』名古屋市港区役所／編 名古屋市港区役所 一九六三年
 『明治・名古屋の顔』服部証太郎／著 六法出版社 一九七三年
 『港区の魅力あれこれ』名古屋市港区役所 一九八三年
 『歴史写真集名古屋再発見』服部証太郎／著 中日新聞本社 一九八四年
 『PORT OF NAGOYA (名古屋港)』第十八巻第一号 通巻一〇三号
 『名古屋港 PORT OF NAGOYA』名古屋港利用促進協議会
 『名古屋港利用促進協議会設立三〇周年記念号』
 『不屈の男 名古屋財界の怪物山田才吉』藤澤茂弘／著 ブックショップマイタウン
 二〇一三年